



今 年7月、家族と一緒に電車に乗ったジョージアのティムラズ・レジャバ駐日大使が、空いていた電車の優先席に座りゆったり読書をしている姿をツイッター(現:X)に投稿すると、大きな議論を呼びました。

「そこは優先席だぞ」「ダメだ、こいつは」などの非難の声が多数寄せられ、「優先席」の考え方の違いが浮き彫りになりました。その後、大使は「空いている席に座ることは問題ない。大切なのは、必要とする方が来た時に率先して席を譲る精神です」と、自分の考えをツイートすると、今度は大使を支持する多くのコメントが寄せられました。

私は、優先席には必要としている人しか座ってはいけないとは思いません。座席は、誰にでも平等に座る権利がありますが、誰もが健康体であるとは限りません。それを“見える化”したマタニティマークやヘルプマークをついている方、思いやりの心でみれば分かる、足腰が弱っているお年寄りや幼い子を連れて

いるお母さんなどには、席を譲る勇気を持ってほしいものです。

先日の帰宅電車でのこと。優先席に座っていた私は、新橋から乗車された足が不自由なサラリーマンの方に席を譲りました。その後、運よく近くの席に座れた私に、男性は「ありがとうございました」と大きな声でお礼を言い、下車されたのです。

席を譲ってよかったなと思う一方、その声のニュアンスから席を譲られる機会はあまりないのでは、と感じました

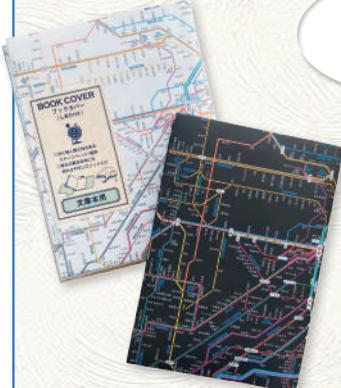
本来ならば、どの席も優先席でありたいのですが、難しいのが現状です。フランスには基本的に優先席はなく、譲ってほしい人が座っている人に声をかけるとか。人それぞれ、国によって様々ですが、思いやりの気持ちは共通です。スマホに夢中になって下に向いてばかりいては、席を譲る機会はありません。



文：山橋由貴子 [やまはしゅきこ] (公社)「小さな親切」運動本部専務理事兼事務局長 イラスト：安彦麻理絵 [あひこまりえ]

読者PRESENT

東京土産にいかが？首都圏路線図の文庫本カバー



東京駅で見つけた首都圏路線図がプリントされた「文庫本カバー」を3名様にプレゼントいたします。これがあれば、電車の乗り換えもばっちり？ カラーは運動本部にお任せください。

応募方法

「氏名」「住所」「年齢」「本誌の感想」をご記入の上、FAX (03-3263-3838) または応募フォームよりご応募ください。



応募フォーム

締め切り

2023年12月8日(金)必着。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。